

【調査内容】

(1) 調査日時

- ・平成24年8月20日(月) 10:00~17:00 <天候> 晴れ(猛暑日)
- ・平成24年9月2日(日) 10:00~17:00 <天候> 晴れ一時雨(猛暑日)

(2) 調査基点

萩市の中心商店街等7基点(基点図参照)

(3) 調査対象

- ①徒 歩 高校生以上の歩行者
- ②自 転 車 高校生以上の自転車
- ③自動二輪車 自動二輪・原付などの二輪車
- ④自 動 車 乗用車・貨物車・バス・タクシーなどの三輪以上の自動車

(4) 調査方法

調査基点を通過する調査対象を、通行別に60分毎に観察

(5) 調査機関

萩商工会議所 協力/山口県立萩商工高等学校

【結果概要】

今回の調査は、市内中心商業集積地の人や車輛の流れを把握するため、平日と日曜日で実施した。調査は午前10時から午後5時までの7時間の徒歩・自転車・自動二輪車・自動車の通行量を7基点で調査した。

(前回調査は平成22年。調査基点は前回と同様、基点表記に一部変更あり)

●8月20日(月)・晴れ(猛暑日)・夏休み期間、両商店街ともイベント等の実施なし。

前回調査時との比較では、土原商店街で、デオデオ前は徒歩▲38.7人、自転車▲12.7台、自動二輪車▲25.3台、自動車▲13.8台で、大久保ビル前は徒歩▲22.4人、自転車▲18.0台、自動二輪車▲19.7台、自動車▲22.7台となった。この調査結果から、両基点とも通行量全般において減少していることが分かった。また、通行量の内訳については両拠点平均で、徒歩58人、自転車227台、自動二輪56台と比較して、自動車が1,716台と圧倒的に多い。

田町商店街では、前回調査時と比較すると各基点で増減のバラつきが見られたが、いずれも20人前後の増減となっている。徒歩、自転車の増減幅はパナックかわむら前がそれぞれ27.4人、▲13.9人、JOY201前がそれぞれ▲16.3人、12.3人、岩崎酒造前がそれぞれ▲30.6人、▲13.6人、UFOビル前がそれぞれ0.4人、▲13.1人となっている。全基点平均では、徒歩で▲4.7人、自転車で▲7.0人という結果となった。通行量の内訳については、各拠点平均で、徒歩350人、自転車628台で、徒歩・自転車ともJOI201前の、それぞれ535人、792台が最大数となった。

観光エリアである香雪園前では、自動二輪車を除いて20%以上減少している。徒歩▲20.6%、自転車▲32.0%、自動二輪車61.4%、自動車▲19.2%という結果になった。内訳については、徒歩637人、自転車362台、自動二輪71台と比較して自動車が1,004台と最も多い。

●9月2日(日)・晴れ一時雨(猛暑日)両商店街ともイベント等の実施なし。※前回は夏休み期間

前回調査時との比較では、土原商店街で、デオデオ前は徒歩29.6%、自転車▲7.3%、自動二輪車▲50.0%、自動車▲11.1%で、大久保ビル前は徒歩▲13.0%、自転車▲53.8%、自動二輪車▲7.5%、自動車17.0%となった。また、通行量の内訳については、平日同様自動車の通行用が圧倒的に多く、内訳については両拠点平均で、徒歩65人、自転車144台、自動二輪31台、自動車1,376台となった。また、通行量は全体的に減少しているものの大久保ビル前の自動車数が増加していることから、マクドナルドへ入店の影響があると考えられる。

田町商店街では、パナックかわむら前の自転車が微増した以外は大幅な減少となった。徒歩、自転車の増減幅はパナックかわむら前がそれぞれ▲27.8%、▲6.0%、JOY201前がそれぞれ▲37.1%、▲18.6%、岩崎酒造前がそれぞれ▲49.5%、▲30.0%、UFOビル前がそれぞれ▲57.1%、▲26.2%となっている。全基点平均では、徒歩で▲42.8%、自転車で▲17.2%という結果となった。通行量の内訳については、各拠点平均で、徒歩199人、自転車361台で、徒歩・自転車ともJOI201前の、それぞれ346人、535台が最大数となった。

観光エリアである香雪園前では、徒歩と自転車が大幅に減少。自動二輪車と自動車は増加している。徒歩▲50.8%、自転車▲42.6%、自動二輪車244.4%、自動車53.3%となった。内訳については、徒歩884人、自転車232台、自動二輪31台、自動車987台で、休日は観光客が影響し、徒歩と自動車の割合が同程度となっている。

【総括】

両商店街とも多くの基点では徒歩、自転車の通行量は減少している。また、前回調査時も多くの基点で減少傾向がみられていたため、両基点の通行量は年々減少し続けていることとなる。特に土原新天街の来街者は各店の駐車場を利用する買物客が多数を占めると思われ、徒歩や自転車にて当新天街の基点前を通過する買物客は少ないと予想できる。さらに、平日と休日を比較した場合、観光地である香雪園前の徒歩以外は、全て平日の通行量が多いという結果になっており、商店街については以前から指摘されている日曜日の買物客の他所(市内商業施設、山口市等市外の商店街や商業施設)への流出が予想できる。

補足

前回調査時は夏休み期間中の休日ということもあり、今回の調査とは多少条件の違いはあると思われる。また、今回は徒歩や自転車での来街に対して猛暑が影響していたという気候的要素があることも考えられる。

調査基点別比較表

区 分 調査日 調査基点	徒歩		自転車		自動二輪車		自動車	
	8/20 (月)	9/2 (日)	8/20 (月)	9/2 (日)	8/20 (月)	9/2 (日)	8/20 (月)	9/2 (日)
香雪園 (呉服町)	637 (802)	884 (900)	362 (532)	232 (335)	71 (44)	31 (29)	1,004 (1,242)	987 (1,114)
ハッパかわむら (東田町)	223 (175)	161 (115)	602 (699)	407 (439)				
JOY201 (東田町)	535 (639)	346 (397)	792 (705)	421 (397)				
岩崎酒造 (東田町)	394 (568)	195 (284)	699 (809)	403 (472)				
UFOビル (東田町)	251 (250)	96 (167)	419 (482)	214 (286)				
デオデオ前 (土原)	57 (93)	70 (62)	254 (291)	179 (205)	59 (79)	46 (61)	1,679 (1,947)	1,377 (1,447)
大久保ビル (土原)	59 (76)	60 (50)	201 (245)	110 (180)	53 (66)	37 (52)	1,753 (2,269)	1,765 (1,584)

※下段の () は前回調査 (平成22年) の結果